

リカレント教育の推進について

《課 題》

- 学び直しの動機づけとなる学習機会の提供が必要
- 職業上で学習成果を生かすための学習相談体制の整備が必要
- 社会変化に対応した学習を推進するための企業・大学等との連携体制が必要

《施策の方向性》

- 【学習機会の提供】
学び直しの動機付けとなる講座（リカレント講座）の実施
- 【学習相談体制の整備】
 - ・「学びの総合窓口」による職業につながる学びの情報提供を含めた、オンライン学習相談の実施（R6 年度新規）
 - ・A I を活用した生涯学習情報の収集（R6 年度新規）
- 【企業・大学等との連携体制】
千葉県リカレント教育推進協議会の運営

《これまでの会議での主なご意見》

- 大学までで学んだことが 10 年 20 年経つと、社会として求められるスキルや知識が変わっていき、リカレント教育の重要性はますます増している。
- 給料ややりがい等、どのように学び直しのインセンティブを伝える形で構築し、見せていけるか。
- 何のために自分が働くのか、社会の中でどんな役割が自分自身にはあるのかを理解した上で、スキルを上げていくことが重要。
- 日本では、学び直していいことがあるという確信がない。こうした構造的に根深い課題をどう変えていくか。
- 幸せになるための学びとして、睡眠や栄養、対人関係等について、大人になってからも学ぶ機会があるとよい。
- 目的を、より良い職業に就くため、地域社会に貢献できるための双方の教育を通じて、より良い人生を送ることができる教育として考え直してもよい。
- 市町村の社会教育の分野との連携だけではなく、産業機関や民間の人材育成機関等との幅広い連携が必要。

令和6年度実績

【企業・大学等との連携体制】

（１）産学官の連携体制の構築

産学官からなる協議会で課題や情報を共有しリカレント教育推進のあり方を検討

- ・委員数：21名（産業、教育、行政の3分野から参加）
- ・2回開催予定 ①7月 「学びの総合窓口」開設の報告など
②2月頃 令和6年度取組結果報告など
- ・利用者のモチベーションアップを目的に、学び直しの体験談をHP等で紹介していくため、各委員に好事例の情報提供を依頼した。
- ・委員からは「学び直しの体験談について、好事例があれば紹介したい。」「キャリア相談に生成AIを組み込むことで、より効果的に対応できる可能性があるのではないか。」等の意見があった。

【学習相談体制の整備】

（２）「学びの総合窓口」の整備

令和6年5月26日にさわやかちば県民プラザに「学びの総合窓口」を開設。オンラインによるキャリア相談等を実施している。

- ・公式LINE友達登録者805名、相談件数92件（令和6年11月21日現在）
- ・利用者からは、「不安な気持ちで相談したが、どのようになりたいのかを言語化でき、学ぶ時間に変えていきたいと思えた。」「過去のキャリアと、これからどうしていきたいかの話を整理したことで、今後のキャリアプランを明確にできた。」等の意見があった。

【学習機会の提供】

（３）産業人材の育成につながるリカレント講座の実施

産業界の各分野で求められる人材像やスキル等の概観を学ぶ講座を実施

- ・7月～2月に全10回開催予定 延べ298名参加（令和6年11月21日現在）
- テーマ ①伝え方×ビジネス、②生成AI×リカレント教育、
③ウェルビーイング×対話、④農業×ICT、
⑤ワーケーション×副業、⑥シニア×起業、
⑦医療福祉×まちづくり、⑧建設・建築×地域、
⑨教育×スタートアップ、⑩学び直し×キャリア

（４）県立テクノスクールにおける職業訓練の実施

県立テクノスクールで行う施設内訓練及び在職者等に対する職業訓練を実施

デジタル化の進展に対応するため、テクノスクールの全ての訓練科でITリテラシーに係る訓練を実施

(5) 離職者等再就職訓練事業

ハローワーク等で求職申込を行っている離職者等を対象に、再就職に向けた支援を行うため、専修学校、NPO、企業などに委託して職業訓練を実施
(R6.9 末現在、89 コース、1077 名受講)

(6) 企業人材リスクリング支援事業

企業におけるリスクリングの推進役となる人事担当者等を対象に、労働生産性の向上を図る上で重要な「DX」の導入を促すための講座を県内複数個所で開催して、中小企業におけるリスクリングの取組を促進

(7) AIを活用した生涯学習情報の収集【新規】

AIシステムを活用して県内の生涯学習に係る情報を収集し、県ホームページで公開するほか、「学びの総合窓口」におけるオンライン相談等の場面において、相談者が求める学び直しの講座情報等を提供